

今日の卓話は東京大学の宇宙工学研究所におられました飛岡健博士でございます。高齢化社会と少子化の問題につきまして講演をしていただきます。飛岡先生、よろしく願い申し上げます。

9月25日は「中秋の名月会」を六本木「マハラジャ」で開催します。私共ロータリアンには貴賓室が用意しておりますので、ダンスの苦手な方・ダンスに疲れた方はそちらで食事、お飲み物の用意がございます。参加費も飲物込で3,000円でございますので、皆様ご参加ください。

10月4日は中華民国(台湾)の建国104周年で、朝10時から「社会福祉に役立つバザー」を五番町14番地「中華学校」で開きますので、是非ご参加頂いて、一日楽しんでいただければと思います。

併せて社会奉仕委員会の増谷委員長・矢野幹事の担当で、新座の老人ホームに親父バンド連盟の「ロングデー」という女性が歌うフォークバンドと共に、老人ホームの慰問に参ります。お好きなほうに参加いただきまして秋のひと時を楽しんでほしいと思っております。

国際奉仕委員会では、御苑クラブとして10月23日、24日に韓国に行きます。既に20年くらい続いている、前立腺肥大予防検査をする奉仕活動で、台湾、韓国、日本のロータリーを中心にして行なっております。私と豊田副会長は既に行く予定に決めておりますが、あと2~3名よろしければご参加ください。

御苑ロータリー会員数は、今日「田中小剛さん」がお入りになりますので56名(名誉会員を含む)ということで、2580地区では10番目くらいのクラブになりました。それだけに責任も増して参りますので、更に頑張ってください。

台風で大変な豪雨がありましたが、秋は「食欲の秋」でもあり、「学問の秋」、「スポーツの秋」、秋は何をやっても良い季節ですので、種々行事にご参加いただきまして、御協力賜りますようお願い申し上げます。

#### <閉会の点鐘・挨拶>

飛岡健先生、今日は御高談いただきましてありがとうございました。私共がまだ十分でない活動の部分がたくさん見えてまいりました。しかしその奉仕の原点は、明日の日本を・そして世界を作っていく子供たちのために我々が何を成し、残してやれるかと、これがまさしくロータリー運動の原点であると改めて感じ入った次第でございます。

我々は、人々と・そして社会と世界の方々とコミュニケーションを交わすのですが、その際に、相手の物差しといいますか尺度を考慮しないことには、相手様に適応したお話ができないのではないかと。自分達の受けた教育や経験ばかりを貧しい国の人々に話しても通じない部分が多くあるかもしれません。そこに何が足りないのか、何が困っているのかということを真剣に考えながらお手伝いできれば、「ロータリー奉仕の完成」に近づいて行くことができるのではないかと思います。

さて、先生のお話をお聞きしまして感じ入ったのは私だけではないと思いますが、新聞報道では、殺人・強盗や交通事故等、不幸なことばかりが紙面を占めています。要するに私たちの子供たちへの教育は、新聞を見ながら「こういう事はしてはいけない」と否定して教えざるを得ないのです。私は「家族のために・社会のために・世界のために」こういう「立派なこと・良いこと・明るくする事」をなされたという記事をたくさん報道してもらいたいのです。そしてそれを「未来を切り開く子供たちの目標にしてもらいたい」とし、それを肯定する「教育の指針」として行きたいと願っています。

飛岡先生の話を伺いまして、このような持論・講演内容をもっともって「家庭に・社会に・世界に」広げていく事が、私共の住みよい社会の為になっていくのではないかと感じ入った次第です。今日は先生どうもありがとうございました。

これにて第 24 回の例会を終了させていただきます。